

## 平成 22 年度実施「いきいき協働事業」活動状況報告書

1 事業名	小平市コミュニティビジネス支援事業	
2 団体名	特定非営利活動法人 MyStyle アットこだいら	
3 担当課名	市民生活部 産業振興課	
4 事業実施期間	平成 22 年 5 月 31 日から平成 23 年 3 月 31 日まで	
5 実施場所	小平市中央公民館ほか	
6 事業の目的、目標	地域の課題解決や活性化に寄与することが期待されているコミュニティビジネス（CB）について、入門講座及び起業講座を実施することで、CBへの理解促進と担い手の育成を図るとともに、実態調査を行い、小平市やCBの担い手が利用できる基礎資料を作成することを目的とする。	
7 事業効果が及ぶ対象者	講座に参加した市民	
8 役割分担	団体の役割	行政の役割
合意した役割分担	講座の企画、運営 経費の負担、CB実態調査の実施、報告書作成	広報等の協力、会場確保、経費の負担、アンケート調査への協力、報告書の資料提供・内容確認
役割の実施状況	講座の企画、運営 経費の負担、CB実態調査の実施、報告書作成	広報等の協力、会場確保、経費の負担、アンケート調査への協力、報告書の資料提供・内容確認
9 事業内容	<p>①CB入門講座          広くコミュニティビジネスの概念とその可能性を伝えることを目的に開催。基調講演、具体的な2事例の紹介後、ワールドカフェを行い、まちの活性化とコミュニティビジネスについての意見交換を行った。</p> <p>②CB起業講座          実践編として、実際に起業を志す市民を対象に具体的な事業計画づくりまでの内容とした。仕事をもつ方にも参加可能な夜間の開催とした結果、比較的若い現役世代の方たちが多く参加する講座となった。</p> <p>③CB実態調査          調査では、小平を10のエリアに分けて実施したグループインタビュー、小平市内100人に対して実施したアンケート、全国のCB活性化の動きの調査、小平市内のCB事業者へのヒアリングなどを通して、コミュニティビジネスの現状、地域課題、市民ニーズを調査した。          今後のコミュニティビジネス支援の参考資料として、また、新たにコミュニティビジネスを起業しようとする人にとってのマーケティング資料として活用することを目的に、その成果を報告書にまとめた。</p>	

10 事業成果について	
<p>(1) 目標の達成状況について</p>	<p>①CB入門講座 50名が参加し、広くCBの趣旨・役割等をPRできた。地域の課題について、ワールドカフェの手法を用いたところ、大変好評であった。また、引き続き起業講座に参加した方もおり、入門編としての効果があった。</p> <p>②CB起業講座 講座最終日に13名がプレゼンテーションを行い、お互いの事業への思いや取り組みを知ることで大いに参考になった。また受講生の参加するメーリングリストを立ち上げ、講座終了後も情報交換、交流を続けており、今後の展開が期待できる。</p> <p>③CB実態調査 10地区でのきめ細かなグループインタビューの実施により、それぞれの地域性や課題が浮かび上がってきた。CBをめぐる状況や地域のニーズについて多くの知見が得られた。 国や他市のCB活性化の取り組みを調査し、先進事例の取り組みやさまざまな支援策を知ることによって今後の支援の方向を考える上で参考となる知識を得ることができた。</p>
<p>(2) 解決される地域の課題について ※計画時に設定した課題が、どの程度解決できたかを記載してください。</p>	<p>①入門講座においては、小平市民のCBへの理解の推進を通して、CBをはぐくむ基盤を地域につくることができる。</p> <p>②起業講座では、CBの担い手を発見し育成することで、小平のCBの活性化につなげる。</p> <p>③調査では、CBに関する市民の意識、ニーズ、地域資源を把握することによって、CBの起業マーケティングの基礎資料とすることができ、小平の実態に合ったCBへのアプローチが可能となる。</p> <p>&lt;課題についての検証&gt;</p> <p>①入門講座…50名の参加があったことで、「CBをはぐくむ基盤」をつくるうえで、一定の効果が上がったと考えている。</p> <p>②起業講座…参加者の中に実際の起業を意識している方も複数おり、具体的な動きも始まりつつある。CBの担い手を発見することができた。</p> <p>③調査…地域のニーズ、地域資源等について多くの発見があった。</p>

<p>(3) 協働事業の受益者について</p> <p>※計画時に設定した対象者が、満足が得られたか。どう変化したか記載してください。</p>	<p>①入門講座②起業講座受講生については、アンケート結果を見ても、満足度は高いと考えている。</p> <p>【入門講座受講生の声】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行政の役割が理解できた。</li> <li>・世代が違う方々との交流が新鮮だった。まずはネットワーク作りが大切だと思った。</li> <li>・地域住民のニーズに根ざした事例が良かった。</li> <li>・何かやれそうな感じが、むくむくと湧いてきた。</li> <li>・実際の事業の具体的な経緯が聞けてよかった。</li> </ul> <p>【起業講座受講生の声】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「仕事は待っていても来ない。自分で創る。」というのは、なるほどと思った。</li> <li>・「こんな街にしたい」という気持ちが、まず必要だという話に共感した。</li> <li>・豊富な実例でわかりやすかった。</li> <li>・CBは、地域の人たち自身が主人公になれるいいコンセプトだと思う。</li> <li>・お金を取る意識。謝礼、講師料の決め方。有償であることの意味など、大変勉強になった。</li> <li>・具体的なワークを通して、自分自身の想いや動機を再確認できた。</li> <li>・人を巻き込むには、自分の想いを明確に伝えることが重要だと学ばせてもらった。</li> <li>・視点を変えて見ることも大切だとわかった。</li> <li>・自分の掘り下げ方のヒントをたくさんもらった。</li> <li>・自分自身にアンテナを立てて核を作ることが、CBには大事だとわかった。</li> <li>・他の人がやろうとしていることを詳しく聞くことも、参考になった。</li> <li>・「覚悟」はできているけれど、持続可能なしくみ作りが難しい。</li> <li>・想いを形にする難しさ、自分のプランがあいまいなことが分かった。</li> <li>・ここまできたら、10年前からの思いを実現するため何とか頑張りたい。</li> <li>・やるべきことがいっぱいだな～と実感。仲間もでき始めたので力を借りながらやっていきたい。</li> <li>・発表したり聞いたりして、少しすっきりした。</li> </ul> <p>③調査の対象となった市民等についても、例えばグループインタビューの結果、地域の課題や資源に気付くなどの効果があり、調査自体が良い刺激になったと考えている。</p>
--	---

<p>(4)協働による相乗効果について ※協働したことにより、単独で事業を行うよりも、成果があったか記載してください。</p>	<p>協働事業としたことで、市民の信頼感も高まり、アンケート協力依頼など円滑に行うことができた。 市報に掲載することで、全市的に参加を呼びかけることができた。担当課職員も講座に出席し、市民の声をじかに聴いたことなどにより、CBをめぐる課題等を共有することができた。</p>
<p>11 今後の事業展開について</p>	<p>「CBをはぐくむ基盤」づくりについては、今後も講座やイベントの開催などを通じて、取り組んでいきたい。 実践講座の受講生への支援を継続することで、「小平のCBの活性化」につなげていきたい。 また、調査報告書については、今後の講座などで活用していきたい。</p>